

彼の敵は世界

ヒトラー

～最期の12日間～

CONSTANTIN FILM AND BERND EICHINGER PRESENT A BERND EICHINGER PRODUCTION AN OLIVER HIRSCHBIEGEL FILM "DOWNFALL" STARRING BRUNO GANZ, ALEXANDRA MARIA LARA, CORINNA KAPFDOCH, ULRICH MATTHES, ULRICH NOETHEN, JULIANE KÖHLER, HEINO FERCH, CHRISTIAN BERKE, ALSO STARRING MATTHIAS HADICH AND THOMAS KRETSCHMANN SPECIAL EFFECTS THE NEFFERS MUSIC BY STEPHAN ZACHARIAS EDITOR HANS FENCK PRODUCTION DESIGNER BERND LEPEL DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY RAINER KLAUSMANN PRODUCTION EXECUTIVE CHRISTINE RÖTKE PRODUCED BY BERND EICHINGER WRITTEN BY BERND EICHINGER DIRECTED BY OLIVER HIRSCHBIEGEL IN CO-PRODUCTION WITH NDR, WDR, DEGETO FILM, ORF AND EDS PRODUCTION AND RAI CINEMA BASED ON THE BOOK "INSIDE HITLER'S BUNKER" BY JOACHIM FEST AND "UNTIL THE FINAL HOUR" BY TRAUDL JUNGHE AND MELISSA MÜLLER

本年度アカデミー賞®外国語映画賞ノミネート

監督:オリヴァー・ヒルシュビーゲル『es』 主演:ブルーノ・ガンツ『ベルリン・天使の詩』
提供:ギャガコミュニケーションズ GAGA × 朝日新聞社 / 配給:ギャガ・コミュニケーションズ GAGA USSEN
協力:日活 111 株式会社 / 後援:ドイツ連邦共和国大使館 / 原作:『ヒトラー 〜最期の12日間〜』岩波書店刊
2004年/ドイツ映画 / 155分 ©2004 Constantin Film Produktion GmbH www.hitler-movie.jp



全てを目撃した秘書が今明かす、衝撃の真実。

誰も描けなかった驚愕の真実に世界が揺れた。 緊張感溢れる衝撃の155分！ 今あなたも“歴史”の目撃者になる。

2005年最大の問題作、遂に日本上陸。

謎につつまれた“ヒトラー”の最期、そして“ナチス”というひとつの組織の崩壊劇

史上最も有名な独裁者アドルフ・ヒトラー。さまざまな歴史上の人物に焦点を当ててきた映画界においてさえ、この“呪われた男”を直視することはタブーとされていた。戦後60年が経とうとしている今、ドイツ自らがそのタブーを破った。敗戦直前という極限状態を舞台にした“ヒトラー最期の12日間”が、彼の女性秘書ユンゲの目を通して、息詰まる緊張感とともに真実の重みを持って描かれていく。又、本作で描かれるもう一つの重要なテーマは、組織の崩壊に直面する人々の心理的葛藤だ。ヒムラー、シュペースゲッベルス等歴史上その名を知られたナチス幹部たちが選択する道はそれぞれ忘れない印象を観るものに残す。

目撃者は一人の秘書。

戦後初めてあかされるヒトラーの真実

1945年4月20日、ベルリン。せまりくるソ連軍の砲火を避けるためヒトラーはドイツ首相官邸の地下要塞に退却していた。味方すら敗戦を疑うものはいなかったが、もはやヒトラーは正常な感覚を失いつつあった。ついに敗北を決意した彼はある重大な決意をすることとなる。ヒトラー最期の12日間を、秘書ユンゲが戦後はじめてあからさまに告白した実話問題作。



目撃者トラウドル・ユンゲ

1920年、ミュンヘン出身。ヒトラー最後の個人秘書官として、1943年から1945年の2年間で、その職務を全うした。ヒトラーの死後、ソ連兵の手から逃れ、彼女が知るナチスの歴史をその脳裏に秘め続けた。しかしようやく彼女がその記憶の扉を開き、2002年ベルリン映画祭で彼女自身の告白を綴ったドキュメンタリー「Blind Spot, Hitler's Secretary」が上映されたその翌日、全ての役割を終えたかの如く、劇的な生涯を閉じた。

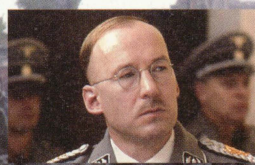
全世界激震！

戦後初めてヒトラーを注視した映画。実に力のある映画だ。……ニューヨークタイムズ紙(アメリカ)

ドイツはユダヤ人大虐殺の歴史を取り繕い美化している。……エルサレムポスト紙(イスラエル)

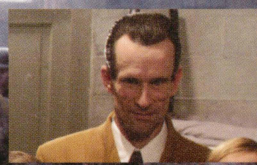
切に忘れない事実を強烈に映し出す偉業は誰しもができるものではない。素晴らしい。……シェーパール紙(ドイツ)

怪物ヒトラーをつくりあげた側近たち



ハインリヒ・ヒムラー
全ドイツ警察長官
Heinrich Himmler (1900-1945)

弱々しくも映る特異な風貌に似合わず恐怖のゲシュタポ長官の任を務め、いかに効率的にユダヤ人を抹殺するかを研究。不気味な悪名を今もとどろかせる。



ヨゼフ・ゲッベルス
宣伝大臣
Joseph Goebbels (1897-1945)

ナチスのプロパガンダ戦略の中心的人物。ヒトラー演説の細かい身振りや声の抑揚まで演出したとされる天才宣伝マン。



アルベルト・シュペーア
軍需大臣
Albert Speer (1905-1981)

ヒトラーに苦言を呈することの出来た数少ない側近。ベルリン改造計画「ゲルマニア建設」の総責任者でもあった。



ヘルマン・ゲーリング
最終階級：国家元帥
Hermann Goering (1893-1946)

派手好きで自己顕示欲が強く、かつ、冷酷な性格。悪名高きゲシュタポの設立に尽力。ヒトラーの後継者と見なされていた。

ヒトラー ～最期の12日間～

監督：オリヴァー・ヒルシュベール『es』

製作／脚本：ベルント・アイヒンガー『まわり道』名もなきアフリカの地で』

撮影：ライナー・クラウスマン『es』

主演：ブルーノ・ガンツ『ベルリン・天使の詩』『アメリカの友人』

アレクサンドラ・マリア・ララ『ドンネル』

提供：キャガコミュニケーションズ GAGA × 朝日新聞社

配給：キャガコミュニケーションズ GAGA USEN

宣伝：キャガ宣伝イーストグループ 協力：日活 日活映画

原作：『ヒトラー ～最期の12日間～』岩波書店刊(6月発売予定)

後援：ドイツ連邦共和国大使館

2004年ドイツ映画/155分/カラー/ドルビーSR、ドルビーデジタル/ビスサイズ

©2004 GAGA Film Produktion GmbH www.hitler-movie.jp

8月20日(土) あなたは“歴史”の目撃者になる！

銀座線京橋駅2番出口 有楽町線銀座一丁目駅7番出口

銀座テアトルシネマ

03 (3535) 6000 <http://www.cinemabox.com/>

18:50-21:30 9/16(金)まで